

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社JCL/バイオアッセイ
 コード番号 2190 URL <http://www.jclbio.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 靱山 邦男
 (氏名) 田中 雅樹

TEL 06-4863-5020

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	789	—	△116	—	△135	—	△97	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	△29.40	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注)当連結会計年度より第2四半期決算短信を作成しているため、前第2四半期実績及び前年同四半期増減率の記載はしていません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
22年3月期第2四半期	3,272	—	1,172	—	35.8	—	354.53	
21年3月期	3,195	—	1,359	—	42.6	—	411.33	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,172百万円 21年3月期 1,359百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 上場記念配当 5円00銭

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,220	△10.8	250	△50.2	145	△66.8	50	△80.6	15.17

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	3,306,000株	21年3月期	3,306,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	46株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	3,305,994株	21年3月期第2四半期	—株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上場予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響から立ち直りの兆しが見られたものの、企業業績の低迷、設備投資の抑制、雇用環境の悪化等により個人消費も引き続き低調に推移するなど、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループがサービスを提供している医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進等の医療費抑制政策や大型新薬の特許切れが始まるいわゆる「2010年問題」等により、製薬企業にとっては新薬の開発がより一層重要な課題となっております。また、海外企業へのM&A等、ますますグローバル化が進んでおります。

このような環境の中、当社グループは、引き続き人材の育成に取り組み、営業活動の強化に努めてまいりました。

その結果、前期の第4四半期連結会計期間に不振であった受注が、今期に入り計画を上回って堅調に推移いたしました。しかしながら、受注した試験の終了時期が想定より遅く、当第2四半期連結累計期間における売上高は当初の計画を下回り、789,565千円となりました。利益につきましては、前期の第4四半期連結会計期間における受注鈍化などにより当第2四半期連結累計期間における実施試験数が少なく、各試験の費用負担が重くなり、原価率が高くなったことなどから、営業損失116,904千円、経常損失135,485千円、四半期純損失97,200千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における受託試験種類別の売上高は次のとおりであります。

・バイオアナリシス（生体試料中薬物濃度測定）

今期に入り受注は好調に推移しておりますが、受注した試験の終了時期が想定より遅かったことから、売上高は当初の計画を下回り651,803千円となりました。

・医薬品品質安定性試験

受注は好調に推移し試験の終了時期も想定より早かったことから、売上高は当初の計画を上回り137,762千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ76,855千円増加して3,272,476千円となりました。これは主に、現預金の減少573,719千円、売掛金の減少70,350千円、リース資産の増加188,130千円、建設仮勘定の増加420,290千円、前払費用の増加36,204千円、及び仕掛品の増加85,565千円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ264,631千円増加して2,100,408千円となりました。これは主に、前受金の増加97,189千円、リース債務の増加199,205千円、短期借入金の増加190,000千円、長期借入金の減少89,626千円、及び未払法人税等の減少150,239千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ187,775千円減少して1,172,067千円となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間の純損失97,200千円の計上、為替換算調整勘定の減少51,956千円及び配当金の支払33,060千円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、35.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ573,719千円減少し、462,023千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、145,877千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失の計上額135,453千円、減価償却費の計上額70,467千円、売上債権の減少額70,350千円、たな卸資産の増加額85,674千円、仕入債務の増加額16,894千円、賞与引当金の増加額23,941千円、受注損失引当金の増加額17,325千円及び法人税等の支払額153,540千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、460,161千円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出455,586千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、42,398千円となりました。これは短期借入金の純増額190,000千円、長期借入金の返済による支出89,626千円、配当金の支払による支出32,202千円、及びリース債務返済による支出25,710千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における受注状況は計画を上回り堅調に推移しております。しかしながら、受注した試験の終了時期が想定より遅く、来期以降になるものも多く含まれており、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに当初の計画を下回る見込みとなることから、業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、平成21年9月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号平成19年12月27日)を適用していますが、成果の確実性が認められる受託試験はないため、工事完成基準によっております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	462,023	1,035,743
売掛金	195,477	265,828
仕掛品	428,344	342,778
原材料及び貯蔵品	40,220	40,111
その他	190,596	109,495
貸倒引当金	△1,022	△1,495
流動資産合計	1,315,639	1,792,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	594,099	617,484
土地	430,206	446,212
建設仮勘定	477,185	56,894
その他(純額)	341,725	167,102
有形固定資産合計	1,843,216	1,287,695
無形固定資産	7,827	7,346
投資その他の資産	105,793	108,118
固定資産合計	1,956,837	1,403,159
資産合計	3,272,476	3,195,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,863	32,969
短期借入金	750,000	560,000
1年内返済予定の長期借入金	135,732	157,492
未払法人税等	2,282	152,522
賞与引当金	99,640	75,698
受注損失引当金	72,189	54,863
役員賞与引当金	—	5,000
その他	327,217	233,784
流動負債合計	1,436,925	1,272,330
固定負債		
長期借入金	334,835	402,701
退職給付引当金	86,528	77,219
役員退職慰労引当金	23,022	20,030
その他	219,096	63,496
固定負債合計	663,482	563,446
負債合計	2,100,408	1,835,777

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,356	256,356
資本剰余金	271,455	271,455
利益剰余金	693,499	823,760
自己株式	△61	—
株主資本合計	1,221,249	1,351,572
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,595	3,901
為替換算調整勘定	△47,585	4,370
評価・換算差額等合計	△49,181	8,271
純資産合計	1,172,067	1,359,843
負債純資産合計	3,272,476	3,195,620

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	789,565
売上原価	667,126
売上総利益	122,439
販売費及び一般管理費	
役員報酬	39,900
給料及び手当	48,551
賞与	170
法定福利費	9,556
賞与引当金繰入額	13,955
退職給付費用	4,097
役員退職慰労引当金繰入額	2,992
旅費及び交通費	8,766
保険料	5,642
支払手数料	20,949
減価償却費	2,928
研究開発費	33,608
その他	48,224
販売費及び一般管理費合計	239,343
営業損失(△)	△116,904
営業外収益	
受取利息	231
保険解約返戻金	51
その他	70
営業外収益合計	353
営業外費用	
支払利息	9,060
為替差損	3,571
開業費償却	6,303
その他	0
営業外費用合計	18,934
経常損失(△)	△135,485
特別利益	
貸倒引当金戻入額	473
固定資産売却益	66
特別利益合計	540
特別損失	
固定資産除却損	508
特別損失合計	508
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,453
法人税、住民税及び事業税	1,595
法人税等調整額	△39,848
法人税等合計	△38,253
四半期純損失(△)	△173,706

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,453
減価償却費	70,467
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△473
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,941
受注損失引当金の増減額(△は減少)	17,325
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,309
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,992
受取利息	△231
支払利息	9,060
固定資産売却損益(△は益)	△66
固定資産除却損	508
売上債権の増減額(△は増加)	70,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,674
仕入債務の増減額(△は減少)	16,894
その他	22,604
小計	16,554
利息及び配当金の受取額	244
利息の支払額	△9,136
法人税等の支払額	△153,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△145,877
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△455,586
有形及び無形固定資産の売却による収入	100
その他	△4,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,195,000
短期借入金の返済による支出	△1,005,000
長期借入金の返済による支出	△89,626
配当金の支払額	△32,202
その他	△25,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△573,719
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	462,023

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当社及び連結子会社の事業は受託試験研究に関する単一の事業セグメントであるため、該当事項はありません。

② 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦の売上高が全セグメントの売上高の合計額に占める割合は90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社グループの事業は、受託試験研究に関する単一のセグメントであるため、当第2四半期連結累計期間における生産実績は、試験種類別に記載しております。

試験種類	生産高(千円)
バイオアナリシス	566,930
医薬品品質安定性試験	100,195
合計	667,126

- (注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループの事業は、受託試験研究に関する単一のセグメントであるため、当第2四半期連結累計期間における生産実績は、試験種類別に記載しております。

試験種類	受注高(千円)	受注残高(千円)
バイオアナリシス	1,175,447	1,504,854
医薬品品質安定性試験	213,945	291,502
合計	1,389,392	1,796,357

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当社グループの事業は、受託試験研究に関する単一のセグメントであるため、当第2四半期連結累計期間における生産実績は、試験種類別に記載しております。

試験種類	販売高(千円)
バイオアナリシス	651,803
医薬品品質安定性試験	137,762
合計	789,565

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	販売高(千円)	割合(%)
武田薬品工業株式会社	285,019	36.1

- 2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。